



UNIVERSITY OF TOYAMA

CIER NEWS

Center for International Education and Research

Vol.6

富山大学
国際交流センター
ニュース
2016

富山大学国際交流センター

〒930-8555 富山市五福3190

TEL/FAX 076-445-6106

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/>

おも
思い
出



Welcome Party



スタディ・エクサクション

しんみなどおほし かいおうまる
新湊大橋・海王丸パーク



スタディ・エクサクション

とやまし 民ぞく 民げいむら
富山市民俗民芸村



パンケーキParty

がくせい 学生からのメッセージ



「もっと広い世界へ出ていく」

経済学研究科企業経営専攻修士課程2年

王 禕 甲

私は小さい町で生まれ育ったので、子供の頃からテレビを見ては、外の世界に憧れ、行ってみたいという感情を強く持つようになりました。その頃から、もっと広い世界へ行くために、私なりに精一杯頑張り続けてきました。でも、日本へ留学できるようになるとは、夢にも思いませんでした。そして、そのチャンスが訪れたのは、大学4年生の時でした。大学から推薦され、卒業後に富山大学経済学研究科に入学することになりました。私は一生忘れられない思い出を作るためにも、このせっかく得たチャンスを大切にしたいと強く思いました。

光陰矢のごとし、日本に来て2年が経ち、間もなく卒業を迎えます。改めて日本での生活を振り返ってみると、初めてのことばかりでした。

大学では日本語を0から勉強し、日本語で発表をし、ゼミの授業も日本語で受けました。ホームステイも経験し、学部の見学旅行にも参加しました。すべてが初めての経験で、楽しさ、達成感、充実感を味わうことができました。そして、これらの経験は、様々な面で私を成長させてくれました。

また、大学での専攻は金融学であり、第2言語は英語でした。来日当初、日本語が全く分からない状態で大学院の生活が始まりました。この時から、大学院の授業を受けながら、国際交流センターで日本語を勉強し続けています。1年2か月かけて、日本語能力試験N1に合格しました。2年間かけて、修士論文を完成させ、今年の9月末には卒業ができるようになりました。長いようで短い2年間に、いろいろな面でたくさんのことを学び成長することができました。しかし、それらを達成する過程は、そんなに順調ではなく、迷う、悩む、自信を失う、苦しい、怖い、寂しいなどを強く感じた時が少なくありません。幸い、私の周りには優しく指導してくれた先生たち、助けてくれた友人たち、応援してくれた家族がいたので、何とか乗り越えることができました。本当に感謝しております。信じがたいかもしれませんが、日本へ留学することを決める過程は非常に良かったです。す

べてを賭けて日本へ来ました。2年が経ち、私の選択は正しいと証明されました。日本へ留学して、本当に良かったと思います。

努力しても、失敗するかもしれませんが、きっと何か得られるはずですよ。私はそう信じています。私の歩みは、これからも止まることなく、世界の果てまでつながって、もっと広い明るい世界に向かって歩き出していきます。



留学というのはかけがえのない経験

人間発達科学部特別聴講学生

ディオン パターソン

留学というのは、自分を成長させるのにかけがえのない経験だと思います。留学すると自分と異なる文化でもわかるようになると私は信じています。留学していたという時間があったという間に過ぎてしまっていて、始まりの時は今でも覚えています。去年の9月に富山に来たばかりの頃は違う言語で話しながら、いろんな手続きやしなくてはならないことが山ほどあってとても大変でした。しかし、富山に到着した時からずっと感じられたのは、富山人からのおもてなしと文化です。一年間の間世界中の友達を作ったり、前に行ったことのないところに行ったり、自分の成長に必要な経験ができていたりして、絶対に忘れられないような一年間でした。

留学しているうちに支えてくださった先生方や友達や出会った人達に心の底から感謝しています。みんなからの応援がなければ、今の自分がない気がして、日本語力はこれほど上達しなかったかなと思っています。皆様のおかげでこれからの道は来たばかりの頃よりもはっきりわかった気がします。どんな性格の人であっても、どこかに留学してみたら、留学する前の自分よりも考え方が広くて、柔軟的な人になれると私は信じています。自分の国と違う人の間でも、その人の文化が理解できるし、気持ち伝わるし、その上その人と分かり合えるようになるということが大事です。人の成長に関して、このとても大事な時期に出会った人達と仲良くしていけば、目の前の世界が開かれると信じています。皆様素敵ないち年間本当にありがとうございました！



たった1ヵ月、されど1ヵ月

じんぶんがくぶじんぶんがくか えいべいげん ごぶんか
人文学部人文学科英米言語文化コース3年

きくち まなみ
菊池 愛美

「大学生になったら留学するんだ!」と私が考えるようになったのは高校生くらいからだだろう。洋画や海外ドラマが好きで、海外の文化への憧れや、思想に興味があり、いつか実際に行ってみたくと願っていた。ずっと英語を勉強することが好きだったのに、その英語を使って実際にネイティブスピーカーとコミュニケーションをとる機会は少なかった。そんな不満を抱えていた私が見つけたのが、ハワイ大学マウイカレッジでの1ヵ月の語学研修である。授業はもちろんホームステイ先でも全て英語。まさに私が願っていた「英語漬けの日々」で、本当に毎日が刺激的だった。と思う反面、研修初期の授業では、先生の指示が理解できなかつたり、他の国の学生と先生が議論しているのをただ聞いているだけだったり、自分の英語力の無さにはがっかりした。それでも私の留学したいという夢を応援してくれた家族や、一緒に研修に参加した仲間たちの存在のおかげで、何としてもこの1ヵ月で成長してみせるという気持ちを取り戻すことができた。「でもたった1ヵ月じゃ何も変わらないんじゃない?」行く前にも帰ってきてからもこう聞かれることがあったが、自分の努力次第である。積極的に先生に質問したり、買い物先で店員さんと会話を続けてみたり、特にホストファミリーにはとにかく話しかけたり、週末アクティビティから学校帰りのスーパーまで様々な場所へ連れて行ってもらい、現地の人と交流するようになった。つたない英語だったけれど、私が何かを伝えたいという思いは伝わったようで、みんな優しく接してくれた。英語を上達させたいという強い思いがあれば、1ヵ月を充実したものにできるのだ。まだまだ文法がめちゃくちゃになったり、言いたいことを上手く表現することができないこともあるけれど、研修参加前と比べて、英語で話すことに抵抗を感じなくなった。この自信がついたことは私にとって大きな収穫である。出発前にもっと勉強しておけば、もっと成長できたという後悔もあるが、「あの時は上手く伝えられなかったことを、次あったときには伝えられるようになりたい」という新たな思いで、今英語を勉強することができる。研修での失敗や後悔も次の目標のためのモチベーションになる。もし留学することを悩んでいる方がこの記事をお読みなら、失敗を恐れずにぜひチャレンジしていただきたい。



「考動」+「行動」=結果

けいざいがく けいざいがくか
経済学部経営学科4年

つくだ えい哉
恒田 英哉

「やるか、やらないか。」これは私が生きていく上で大切にしている言葉です。留学したいと思ってこれを読んでいる皆さん、自分はどうして留学したいのか、そして留学後の自分はどのようにしたいかをしっかりと言うことができますか? 私が語学学校に通っていた時、自分の一年後が不安でした。なぜか? 日本人は英語の知識はありますが、うまく話せないからです。私は留学生に囲まれた環境でいかに一歩先へ行けるかを考え、「学校の日本人の中でNO.1の英会話力」を目標に掲げました。留学の目的を明確にして、目標を立てるということは自分のモチベーションを上げる上でとても重要なことで、このプロセスは何をするにしても大切にしていけばだと留学の経験から確信しました。しかし、さらに大切なのは「行動」です。目的や目標が明確でもそれを行動に移せなければ、限られた貴重な留学の時間を失うこととなります。私の場合は、生きた英語を学ぶことがリスニング力とスピーキング力アップへの近道だと思い、留学中はずっと続けてきた野球をツールとして自分の力で野球チームを見つけて所属していました。このおかげで、英語に触れる時間が以前よりもさらに増えて英語力が格段に上がり、また学校では知ることのできない会話表現や若者言葉を学ぶことができました。そして、学校の先生からも私の英語が他の日本人よりも格段にうまいという言葉をいただくことができました。

繰り返しになりますが、私が最高の結果を得られたのは、常にベストな方法を考えて自分の目標に向かって行動できたからです。自分がやるか、やらないかで100得られるものが0になるかもしれません。自分がやれば視野も広がるし、何より自分にしかない貴重な経験ができます。事実、私は大学三年生まで硬式野球部に所属していました。どんなに忙しくても、自分のやりたいことをやろうと思えば人間いつでもできるってことです! あきらめる前に、まず行動!

そして最後に、私の一番好きな言葉を言います。

「Love the life you live. Live the life you love.」

「自分が生きる人生を愛し、自分の愛する人生を生きて」

たった一度の学生生活、自分次第でいくらでも変わるよ。

国際交流センター 掲示板 (五福キャンパス)

富山大学国際交流センターは、外国人留学生の受入・支援、学生の海外留学の支援、海外学術交流協定校との学生交流に関する連絡・調整、外国人留学生に対する日本語・日本事情教育、その他の国際交流に関する諸業務、留学生教育・国際交流に関する調査及び研究などをその業務としています。

詳しくはホームページをご覧ください。〈<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/>〉

留学や国際交流等に関心のある富山大学の学生みなさん、気軽に国際交流センターに足を運んでください。

国際交流サークル PARTNERS

4月と10月にはWelcome Partyを企画し、毎月料理交流会等を開催予定です。

各催しに関するポスターは国際交流センター内に随時掲示します。ホームページでも紹介されますので、みなさんふるってご参加ください。

また、PARTNERSでは留学生との交流に関心のある富山大学生のみなさんを随時募集しています。

※PARTNERSとは、富山大学に通う外国人留学生と日本人学生との交流を目的として立ち上げられた国際交流サークルです。

コンサルテーション

富山大学で学ぶ外国人留学生のみなさん、海外への留学を目指すみなさんを対象に、相談に応じています。

担当：バハウ サイモン ピーター 教員

実施日時：水曜日 2限

火・木曜日 3限

相談予約・問い合わせは、下記事務室までご連絡ください。

◆**申込・連絡先**

☎ 445-6106

cier@adm.u-toyama.ac.jp

センターの2階には「留学情報資料室」もあります。

2016年度後期日本語課外補講 オリエンテーション

〈日時〉2016年10月5日(水) 12:00~13:30

〈場所〉共通教育棟4階A43番教室

※日本語課外補講の受講希望者は、このオリエンテーションに参加してください。

◆**連絡先** ☎445-6271 (小木曾研究室)

平成28年度10月入学新入留学生のための オリエンテーション

〈日時〉2016年10月19日(水) 16:30~

〈場所〉五福キャンパス共通教育棟D11教室

杉谷キャンパス看護学科研究棟11教室

〈対象〉平成28年10月入学新入留学生(非正規生含む全員) *過去にオリエンテーションに参加した学生を除きます。

◆**連絡先** ☎445-6972 (副島研究室)

スタディ・エクサカーション

〈日時〉2016年11月9日(水) 14:45~

〈参加費〉無料

〈見学場所〉五百羅漢・富山市民俗民芸村

※留学生と日本人学生との「交流」を目的とした見学です。



◆**連絡先** ☎445-6971 (バハウ研究室)